

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 213

2010年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月4日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬鳥が北へ旅立ち始めます。まだまだ多く残っているカモ達の観察を楽しみましょう。カンムリカイツブリや猛禽類も期待できそうです。沼周辺の小鳥も注意して観察しましょう。
解 散 正午頃
担 当 佐々木、松田、桑森、野口(紀)、小林(寿)、北原

集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 数多くの冬鳥や水鳥が期待できません(昨年はベニマシコやヒレンジャクも観察できました)。
持 ち 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
交 通 自家用車分乗。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。なお、申込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。
申 込 野口隆也まで
Tel : 04 - 7163 - 7898

担 当 松田幸保、野口隆也

4月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬鳥達が北に去り、変わって春の渡りの季節を迎えます。ツバメやシギ・チとの出会いが楽しみです。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)、桑森、北原、佐々木、松田

葛西臨海公園探鳥会

期 日 4月17日(土) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時
案 内 水辺の鳥(シギ・チドリ等)、野山の鳥の両方が期待できます(昨年はムシクイやミヤコドリも観察できました)。
持 ち 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
交 通 我孫子駅午前8:07 発千代田線(代々木上原行)で新松戸乗換え、武蔵野線(東京行)で葛西臨海公園駅へ。
申 込 野口隆也まで

北本自然公園探鳥会

期 日 3月21日(日) 雨天中止

担 当 桑森亮、野口隆也

筑波山探鳥会

期 日 5月1日(土) 雨天中止
 集 合 我孫子駅北口 午前7時
 案 内 恒例のゴールデンウィーク探鳥会
 です。本隊(健脚向き)は筑波山の
 裏側から探鳥しながら御幸ヶ原に登
 ります。別隊(一般向き)は筑波山
 神社で探鳥後、ケーブルカーを利用
 して御幸ヶ原で本隊と合流します。
 その後、男体山を周遊する自然研究
 路を一周、裏側から下山します。ソ
 ウシチョウ、オオルリ、キビタキな
 どの美声と姿に出会えるでしょう。

持ち物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
 交 通 自家用車分乗。便乗者は一人1,500
 円を運転者にお渡しください。なお、
 申込みの際、自家用車を提供可能な
 方はその旨ご連絡ください。

申 込 鈴木静治まで(本隊、別隊の希望を
 お知らせください)
 Tel : 04 - 7169 - 4191

担 当 鈴木静治、染谷迪夫
 (注)ケーブルカー利用者は別途 片道大人

【Enjoy手賀沼 第21回バードウィーク手賀沼探鳥会】

5月10日~16日はバードウィークです。恒例の手賀沼探鳥会を9日に実施します。我孫子市鳥の博物館と当会が共催するイベント(山階鳥類研究所は後援)で、手賀沼親水広場で開催される「Enjoy手賀沼!」(Enjoy手賀沼実行委員会主催)に併せた行事です。探鳥会には60名以上の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥会の実施面を担当しますので多数会員のお手伝いをお願いします。

期 日 平成22年5月9日(日) 雨天中止
 集 合 手賀沼親水広場 芝生 午前8時30分
 担 当 全幹事
 案 内 6班編成で、順次出発、ふれあい道路を東進し、高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻るコースとします。班毎に鳥合わせして

平成22年度定期総会

日 時 4月11日(日)13:30~
 場 所 水の館3F研修室
 議 題

平成21年度活動報告、同決算報告
 平成22年度事業計画案、同予算案
 その他

21年度の成果と反省を総括し、22年度の活動方針等を決める総会です。出来るだけ多数の会員の出席をお願いし、活発な総会になるよう期待いたします。

3月幹事会案内

日 時 3月14日(日)13:30~16:30
 場 所 アビスタ 第4学習室
 議 題

総会提出資料の検討
 21年度活動報告及び決算案
 22年度事業計画及び予算案
 会報214号記載記事について
 その他 議題を提出する場合は事務局へ連絡ください

解散です。原則 12 時終了の予定です。5 月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に替えます。

雨天の場合は、我孫子市鳥の博物館見学会(入場無料)を行います。館内の案内、説明等を会員が手伝います。確認は 7 時 30 分以降「鳥博」(04-7185-2212)まで。

市民活動フェア in あびこ 2010

当会は「市民活動フェア in あびこ 2010」に参加します。

開催日は 2010 年 3 月 6 日(土)・7 日(日) 会場はアビスタとけやきプラザにおいて行います。今回は手賀沼公園探鳥と「パネル展示」で参加します。探鳥は公園定点で 6 日 13:00~15:00 に実施します。「パネル展示」は当会の活動紹介をアビスタ 1 階工芸工作室で 2 日間常設します。なお、当会の所属する環境分科会ではエコ自慢大会を実施します(両日 14:00~14:30、工芸工作室)。会員の方達には是非お出掛けください。6 日は探鳥、7 日はエコ自慢を中心に楽しんでいただき当会の活動紹介にもお力添えください。(間野、浅井、佐々木)

行事報告

12 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.12.13 9:00~12:00
晴れ時々曇り 風弱 気温 13
<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、ノスリ、チョウゲンボウ、クイナ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 45 種
<探鳥班> 染谷迪夫、大久保陸夫、野口隆也、肥後邦彦、村瀬和則、諏訪哲夫、榎本右、栗田励、池田日出男、田中悟、西昭子、常盤孝義、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、田丸喜昭、松田幸保、田中恒雄、

宮下三禮、武藤康之、類地佑子、天野正臣、染谷良子、小玉文夫、高橋長久、間野吉幸、桑森亮、野口紀子、浅井久、田中功、佐々木隆、小林寿美子、西嶋昭生、西嶋みどり、石渡成紀、木村稔、古出洋子、川内悠太郎(担当)北原建郎 参加者 40 名

<カウント班> 木村稔、北原建郎、田中功、染谷迪夫

調査日時 2009.12.15 9:00~12:05
晴 微風 気温 5

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	15	9	24
カンムリカイツブリ	6	17	23
カワウ	12	61	73
ゴイサギ	28	0	28
ダイサギ	3	3	6
コサギ	7	16	23
アオサギ	11	9	20
コブハクチョウ	11	11	22
マガモ	0	14	14
カルガモ	87	16	103

コガモ	13	46	59
オカヨシガモ	7	4	11
ヒドリガモ	0	6	6
オカガモ	14	10	24
ホシハジロ	0	2	2
ミコアイサ	0	7	7
オバン	12	36	48
ユリカモメ	7	35	42
セグロカモメ	1	0	1
合計	234	302	536

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

調査日時 2009.12.13 9:30~11:30

全般：天気良く、無風のため湖面静か。アカハラ、ジョウビタキを始め30種の野鳥を観察。北側傾斜林の樹木が紅葉で綺麗。

水田：一部の乾田で田起こし。

ピオトープ：（手作りゾーン）新しい掲示板設置、湿地の植物群落再生、カヤネズミの調査実施中

通行人：ランニング、ウォーキング、自転車の通行人多数。

1月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2010.1.10 9:00~12:00

晴れ 微風 気温8

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、ミスゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計49種

<探鳥班> 肥後邦彦、間野吉幸、諏訪哲夫、金子幸子、川越久枝、大久保陸夫、田丸喜昭、栗田励、田中悟、西昭子、山内雅量、北原建郎、野口隆也、柴本三弘、柴本法子、山口キイ、松本勝英、宮下三禮、川村美智子、川村美恵子、佐々木隆、田中恒雄、高見元也、高見とし子、武藤康之、六角昭男、松下勝子、坂巻宗男、類地佑子、野口紀子、野口紀恵、小玉文夫、栗原祐子、河内悠太郎、大矢篤、佐藤弘美、古出洋子、古出夏妃、常盤孝義（担当）桑森亮 参加者40名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2010.1.10 9:05~12:35

晴、気温3

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	16	6	22
ハジロカイツブリ	1	2	3
カンムリカイツブリ	15	14	29
カワウ	5	34	39
ゴイサギ	21	0	21
ダイサギ	5	3	8
コサギ	5	5	10
アオサギ	12	5	17
コブハクチョウ	3	5	8
マガモ	0	32	32
カルガモ	68	18	86
コガモ	95	30	125
オカガモ	3	47	50
ホシハジロ	0	9	9
ミコアイサ	5	10	15
バン	1	0	1
オオバン	25	42	67
セグロカモメ	1	2	3
合計	281	264	545

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男

調査日時 2010.1.10 9:30~11:30

晴れ 中位の風 14~16

全般：天候は良かったが、冬鳥、特にカモ類がすくなかった。沼の水位が高かった。

水田：晴天続きで、どの田も乾いていた。殆どの乾田で田起こし。

ピオトープ：湿地の植物群落の再生、カヤネズ

ミの調査実施中。

通行人：晴天のため、ランニング、ウォーキング、サイクリング、犬の散歩等の通行、多数。

酒 沼 探 鳥 会

12月27日

ミサゴが湖面にダイビング

浅野利幸

酒沼・霞ヶ浦の探鳥会に初めての参加ということで期待して集合場所の我孫子駅に向かう。我孫子駅から7台の車に分乗して総勢28人、8時に予め詳細なドライブコースが作成されていてその順路に従ってのスタートとなり、私は1号車田丸さんの車に乗せていただきました。田丸さんは鳥のことはもちろんの事、道の詳しいことには驚きました。車はつくば牛久 JCT から常磐自動車道に入りトイレ休憩の美野里 PA に集合、岩間 IC で高速道路から一般道へと進み、セブンイレブンで昼食を買い求め、その後複雑な道を慣れた田丸さんの車はどんどん進み酒沼最西部へ到着。

この場所はぬかるんでいて車の出入りは大変な所でした。土手を上がり酒沼を見通せる所からのウォッチングが開始された、カワセミ、少し遠くにカモ類が見える、また上空はノスリ、オオタカ、チュウヒ、トビ、ハイタカ等猛禽類が多くさいさきのよいスタートとなった、最初のポイントから移動を始めたが、ホオジロ、タゲリ、ノスリ等が出て、車がなかなか進まない状態でした。

弁天鼻網掛公園でトイレと探鳥。

その後、いこいの村酒沼の駐車場に車を止め日だまりで昼食をとって、探鳥、土産の購入等をしました、ここが酒沼の観光中心で、宿泊施設、グランドゴルフ、パターゴルフ、プール、庭園等があり水鳥以外の鳥も観察出来ました。酒沼東部で探鳥をして、幹事さんが前もって電話で手配して下さったお店で酒沼特産のシジミ1キロいり1200円を皆さんが購入しました、酒沼は海水が逆流する汽水湖で特にこの時期のシジミは格別美味しいとの定評を聞いていました。お店の方のお

話しですと、家にそのまま持ち帰りしばらく水につけて、みそ汁に入れる、残ったシジミはそのまま冷凍して次に使う時は水から煮ると美味しいと教えていただき、家族からも美味しいと大好評でした。

酒沼は大きい沼で鳥は近くで写真を撮る事が出来ませんでした、キンクロハジロ、スズガモの大群には圧倒されました。

酒沼から霞ヶ浦に移動して湖岸に車を止め直ぐに目に入ったのはミサゴが湖面にダイビングする姿でした、数回にわたりダイビングをしていましたが魚はゲット出来ませんでした、その他にはナポレオンの帽子をかぶったヨシガモの が綺麗な姿を見せてくれたのが印象的でした。ここで機材をしまい帰路につき、谷田部 PA で鳥合せを行い、今年最後の探鳥会が終了となりました。変化に富んだ楽しい探鳥会で、幹事の方、運転して頂いた方に感謝申し上げます。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ハイタカ、ノスリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、キジ、オオバン、タゲリ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソカラス、ハシブトカラス、計55種 番外コクチョウ
<参加者> 間野吉幸、松本勝英、松本葉子、田丸メリールイス、田中功、鈴木静治、小玉文夫、猪爪敏夫、桑森亮、松田幸保、染谷迪夫、諏訪哲夫、山住良子、肥後邦彦、和田朋之、石渡成紀、浅野利幸、山本貞江、小林秀美、大久保陸夫、宮下三禮、田中恒雄、野口紀子、渡邊成、松下勝子、畠中暁美（担当幹事）北原建郎、田丸喜昭 参加者28名

波 崎 探 鳥 会

1月3日

小見川では猛禽類を

金成典知

普段は会の行事に参加することもなく、2ヶ月に一度送られて来る「ほーほーどり」を眺めるだけのずぼらな会員の私も、年末年始の探鳥会にはできるだけ参加するようにしています。この時期の鳥に特別関心があるなどのリッパな理由があるわけではなく、年末の涸沼探鳥会は、正月準備の気忙しさから一日脱出することと涸沼名産のシジミを調達すること、正月の波崎探鳥会は、三ヶ日のおせち料理と酒びたりの生活から心を入れ換えるためです。

今回は涸沼のほうに参加できませんでした。1月3日(日)の波崎のほうに参加しました。午前8時、我孫子駅北口に19人が元気に集まり、5台の車に分乗して出発しました。先頭はいつものように田丸車で、私が乗せてもらう桑森車は最後尾でした。同乗は猪爪さん。ベテランのお二人から、車中、昔どこでどんな鳥を見たなど、貴重な話を聞くことができました。今日も好天で、今のところ風も弱いようです。筑波山がかすんで見えました。

車の流れが良く、最初の探鳥地、小見川大橋近くの土手には9時半に着きました。土手に立つと、外側には渡良瀬遊水地を思わせる広大なヨシ原があり、河川敷にもヨシ原があるので、ワシタカ類が多く見られるところです。今日もトビやノスリ、チュウヒ、ハイイロチュウヒが見られました。チュウヒが3羽、争っているのか、遊んでいるのか、高く低く飛び交っています。河川敷のグラウンドにはタゲリやツグミもいました。

30分ほど見て、神栖市へ移動しました。市役所近くの神之池(ごうのいけ)が次のポイントです。神之池は奈良時代の常陸国風土記にも出てくる古くからの淡水の池で、鹿島港建設で大きさが七分の一になってしまったようですが、それでも周囲4キロ以上あり、周りはよく整備されています。歩いている人、走っている人、サイクリングしている人が大勢います。行き帰りの利根川の土手で

もよく見かけましたが、寒い中運動を楽しむ人が多いのに感心します。寒さにめげないという点では我々も一緒ですが、···そういえばこの頃から少しずつ北東の風が強くなり、気温が下がってきました。

水上ではミコアイサの集団がまとまって漁獵をしていました。パンダのようなかわいい顔をしたのが一斉にもぐったり、浮かんだりするのをスコープで追いかけるのは楽しいものです。ここにはカイツブリ、カンムリカイツブリ、ヒドリガモ、コガモ、マガモなどもいました。池を横切る木の橋があり、対岸の公園を歩きました。アオジ、アカハラ、シロハラなどがいないか探しましたが、コゲラが幹を伝っているのを見つけただけでした。このとき、対岸に残っておられた小玉さんが、ヒドリガモの群れの中にアメリカヒドリガモがいるのを見つけた、という情報が入りました。スコープで見ても私にはなかなか判別できませんでしたが、よく見ると、頭の部分が白っぽく、目のあたりが緑色のカモが一羽いました。これが、今回の目玉になりました。

アメリカヒドリガモの出現で出発が少し遅れ、昼食場所の波崎港かもめ公園に着いたのは12時半。ここで三々五々昼食をとりました。風さえ避ければ陽だまりの中は十分暖かいです。私はたまたま大久保さんと一緒でした。年齢のこと、健康のことなどを話しました。探鳥会での諸先輩との何気ない会話も、楽しみの一つです。

1時過ぎ、探鳥再開です。岸壁に出て鳥を探しましたが、どういうわけかあまりいません。この探鳥会は、シノリガモとかミユビシギとかミヤコドリとか、毎年、珍しい鳥を見ているようですが、今回この場所に限っては、皆が興奮するような種類は出ませんでした。海水浴場のほうに移動しても、ほぼ同じでした。寒風にさらされ、骨まで冷えました。沖合を見ると、たえず貨物船が行き来しています。正月なのに、物流の世界は大変だなーと余計なことを思いました。

3時前に探鳥を切り上げ、海水浴場の建物のそばで鳥合わせをし、帰路に着くことになりました。利根川沿いに栄橋まで茨城県側を走り、あまり渋滞に遭わずに、5時頃帰宅できました。

新年最初の探鳥会は、寒さのせいだけでなく、心身ともにシャキッとする会でした。企画してくださった幹事の皆さん、車を出してくださった皆さん、一緒に参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、トビ、ノスリ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、チョウゲンボウ、オオバン、シロチドリ、タゲリ、ハマシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 53 種

<参加者> 田丸メリールイス、浅野利幸、宮下三禮、間野吉幸、田中功、石渡茂紀、田中恒雄、小玉文夫、鈴木静治、大久保睦夫、松本勝英、松本葉子、肥後邦彦、池田日出男、猪爪敏夫、金成典知 (担当幹事) 田丸喜昭、松田幸保、桑森亮 参加者 19 名

銚子カモメ探鳥会

1月17日

コクガンを楽しみに

中西榮子

1月17日(日)銚子カモメ探鳥会の予定を伺い、参加させていただくことになりました。朝7時半、我孫子駅に集合、参加者15名、4台の車に分乗して出発です。最初のポイントは、銚子漁港です。すでにスコープを構えた方の姿が数人、その道に精通されている方のような雰囲気があります。運の良いことにカナダカモメが見られているということです。数多いカモメの群れの中から、その1羽を見つける力は、私にはありませんので、場所を特定していただき、しっかり観察する

ことが出来ました。

次のポイントは、千人塚です。ここで昼食をとり、岩の上で休憩しているシノリガモをスコープを通して見せていただきました。真っ赤な嘴のミヤコドリも観察出来ましたし、電柱で休んでいるハヤブサの凛々しい姿もスコープで見せていただきました。

次は第三漁港です。幹事の方が、下見をして下さったとき、コクガンが見られたとこのことで楽しみにしておりました。「やっぱりないね。」と誰かがつぶやいた時、諏訪さんが大きな丸のサインをしてくださいました。何とあまりに近いところにコクガンがいたのです。このコクガンは、すっかりこの漁港が気に入った様子で、カメラマンに動じることなく平然と水溜りの藻を食べています。第三漁港では、アカエリカイツブリ、クロサギも見ることが出来ました。

最後に回ったのは、外川漁港です。出迎えてくれたのは、イソヒヨドリ。漁港の建物の高いところから、こちらを見下ろしています。波打ち際には、カモメがたくさんいます。でも皆さんが期待したワシカモメには会いませんでした。好天に恵まれ、たくさんの鳥たちに出会えた銚子カモメ探鳥会。真っ赤な太陽が沈むころ、満ち足りた気持ちで帰路に着くことが出来ました。幹事の皆様、安全運転してくださった皆様、ご一緒させていただいた皆様ありがとうございました。

【幹事報告】

<認めた鳥> ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、ダイサギ、コサギ、クロサギ、アオサギ、コクガン、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、スズガモ、シノリガモ、トビ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、チュウヒ、ノスリ、オオバン、シロチドリ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、カモメ、ウミネコ、ミツユビカモメ、カナダカモメ、ミヤコドリ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、ツグミ、メジロ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 48 種

<参加者> 北原建郎、古賀嗣朗、浅野利幸、桑森亮、肥後邦彦、松本勝英、松本葉子、鈴

木静治、田中功、間野吉幸、宮下三禮、中西
 榮子、大久保陸夫、染谷迪夫
 (担当幹事) 諏訪哲夫 参加者 15 名

平成 21 年度芋煮会報告

第 27 回目の芋煮会を報告いたします。今回の芋煮会は、晴れて風もなくおだやかな芋煮会でした。最後に皆さんが持ち寄ったものを競りにかけ、盛況のうちに完売しました。

日 時 平成 20 年 12 月 20 日 (日) 10:00~14:30

場 所 五本松公園キャンプ場

参加者 大野真澄、島崎純造、諏訪哲夫、松田幸保、猪爪敏夫、松本勝英、松本葉子、田中功、染谷迪夫、小林寿美子、間野吉幸、桑森亮、類地佑子、古出洋子、古出夏妃、栗田励、浅井久、西昭子、鈴木静治、小玉文夫、小玉信子、首藤佑吉、野口紀子、野口紀恵、赤尾完、和田朋之、松下勝子、小林秀美、大久保陸夫、野口隆也、野口洋子、宮下三禮、佐々木隆、染谷良子、常磐孝義、渡辺茂、橋本清、中尾正直、飯島博、寺澤美由季、寺澤優海、寺澤龍二、小林孝夫、北原建郎、坂巻宗男、石川綾夏、杉森文夫、計 47 名

< 芋煮会 メニュー >

料 理 芋煮、やきとり、厚揚げ焼、焼肉、やきそば、やきいも、参加者手製料理等

飲み物 ビール、日本酒、ワイン、焼酎、ジュース、お茶等

鳥 だ よ り

- | | |
|---|---|
| 11.23 [染井入新田地先] ミア伊(2) 手賀沼遊泳 桑森亮 | 12.05 [浅間前] ノリ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治 |
| 11.23 [染井入新田地先] フル(1) 飛翔 桑森亮 | 12.06 [浅間前] フョウノウ(1) ノボリガキが電柱に来てフョウガを出す 鈴木静治 |
| 11.28 [大井新田先手賀沼] ヨガモ(1) 11:20、雄個体が大津川河口近くの葦原の近くの干潟で採餌 飯泉仁・久美子 | 12.15 [手賀沼] ノリ(1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・北原建郎・田中功 |
| 11.28 [大井新田先手賀沼] ミゴ(1) 11:20、沼の水面の杭に止まり、魚を食べていた 飯泉仁・久美子 | 12.18 [鷺野谷新田] ヒ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治 |
| 11.28 [片山新田先手賀沼] ミゴ(1) 12:45、沼の杭に止まり、魚を食べていた 飯泉仁・久美子 | 12.19 [下沼田] ノリ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治 |
| 12.04 [江蔵地] ノリ(1) 木の頂にとまる 鈴木静治 | 12.20 [片山新田先手賀沼] コミヅク(1) 11:27、沼中央部の杭に止まり、周辺を見渡していた 飯泉仁・久美子 |
| 12.04 [布佐] フョウノウ(1) 田の上空を飛翔 鈴木静治 | 12.20 [片山新田先手賀沼] 材ノカモ(1) 11:27、水面を泳いで移動 |
| | 12.20 [手賀新田] ノリ(1) 13:41、水田地 |

- 帯の電柱に止まり、周囲を見渡していた
飯泉仁・久美子
- 12.20 [大井新田] フォウゲンボウ(1) 10:55、
ホバリングし、餌を探していた
飯泉仁・久美子
- 12.20 [手賀新田] フォウゲンボウ(1) 13:50、
水田上空でホバリングしていた
飯泉仁・久美子
- 12.20 [発作] ヒ(1) 13:58、上空を旋回
飯泉仁・久美子
- 12.20 [発作] フォウゲンボウ(1) 13:58、水田
上空でホバリング
飯泉仁・久美子
- 12.20 [中沼田] フォウゲンボウ(1) 低地集水
路の叢より飛び立つ
鈴木静治
- 12.22 [つくし野] クサヅキ(1) つくし野川
で
中野久夫
- 12.22 [北新田] イソギ(1) 4号排水路で
中野久夫
- 12.24 [江蔵地] ミサコ(1) 上空を小文間方
面へ飛ぶ
鈴木静治
- 12.24 [江蔵地] ヘニマシコ(2) 木の枝で虫を
採餌
鈴木静治
- 12.25 [曙橋] ヘニマシコ(1) 土手に生えて
いる草の実をがむしゃらに採餌
大久保陸夫
- 12.26 [江蔵地] ハブサ(1) 河原の低空を
飛ぶ
鈴木静治
- 12.30 [染井入新田地先] ミサコ(1) 手賀
沼杭上で採餌
桑森亮
- 12.31 [千間橋] フォウゲンボウ(1) 道の端の
杭にとまる
鈴木静治
- 12.31 [北新田] オカカ(1) 電柱から飛去
中野久夫
- 12.22 [曙橋] オカカ(1) 休息
中西榮子
- 12.25 [曙橋] ノリ(1) 休息
中西榮子
- 12.25 [曙橋] フォウゲンボウ(1) 休息
中西榮子
- 12.31 [曙橋] ミサコ(1) 飛翔
中西榮子
- 12.31 [中沼田] コフォウゲンボウ(2) 採餌・
飛翔
中西榮子
- 01.01 [酒井根6丁目下田の森] トラツグミ
(1) 10:11、木の枝に止まって休憩
飯泉仁
- 01.02 [布瀬新田] ノリ(1) 7:40、水田地
区の中の電柱に止まっていた
飯泉仁・久美子
- 01.03 [片山新田先手賀沼] ヘニマシコ(1)
12:23、遊歩道に隣接した葦原の草の種
を捕食
飯泉仁・久美子
- 01.03 [片山新田先手賀沼] オカカ(2)
12:23、葦原に止まったり、湿地帯に下
りて餌を物色、成鳥と第一回冬羽個体が
各1羽
飯泉仁・久美子
- 01.03 [片山新田先手賀沼] ハツカ(2)
12:23、空中で餌を受渡し、足にぶら下げ
て鳴きながら南方向に移動
飯泉仁・久美子
- 01.03 [箕輪新田先手賀沼] ミサコ(1)
14:48、杭に止まっていた
飯泉仁・久美子
- 01.03 [大井新田先手賀沼] オドリ(1)
15:21、雄個体が上沼中央部の水面を我孫
子側から大津川方向に移動
飯泉仁・久美子
- 01.04 [江蔵地] フォウゲンボウ(1) 葦原を飛
ぶ
鈴木静治
- 01.05 [北新田] ノリ(1) 電柱上
中野久夫
- 01.08 [北新田] フォウゲンボウ(2) 争いな
がら飛翔
中野久夫
- 01.10 [高野山新田] コカカ(1) 樹上に
大久保陸夫
- 01.10 [手賀沼辺] フユビ(1) 上沼1
染谷迪夫・木村稔・田中功、
- 01.11 [日秀新田] オカカ(1) 田圃の中
桑森亮
- 01.11 [日秀新田] ノリ(1) 飛翔
桑森亮
- 01.11 [日秀新田] フォウゲンボウ(1) 双メの
群れを襲う
桑森亮
- 01.11 [布佐平和台] ヒ(1) 住宅の上を
飛ぶ
鈴木静治
- 01.11 [水道橋] フユビ(1) 飛翔
中西榮子
- 01.14 [緑] フォウゲンボウ(1) 上空を停飛し
ながら飛ぶ
鈴木静治
- 01.14 [北新田] ハブサ(1) 電柱上
中野久夫
- 01.15 [北新田] ヒ(1) 帆翔
中野久夫
- 01.15 [北新田] クサヅキ(1) 4号排水路で
中野久夫
- 01.16 [呼塚新田] ミサコ(1) 飛翔
中西榮子
- 01.16 [呼塚新田] ヘニマシコ(2) 鳴いていた
中西榮子
- 01.19 [高野山新田] オコハズク(1) 保護
鶴見みや古・尾崎清明・平岡考

01.19 [布施] ハニマシコ(3) 採餌 中西榮子

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカハラ、イカルチドリ、イソシギ、ウグイス、エナガ、オオコノハズク、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジバト、キセキレイ、キンクロハジロ、クサシギ、コイカル、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コチヨウゲンボウ、コブハクチョウ、コミミズク、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、トビ、トラツグミ、ノスリ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ピンズイ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホオジロガモ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ムクドリ、メジロ、モズ、ユリカモメ、ヨシガモ、ル

リビタキ 計 79 種

番外種：アヒル、カワラバト、コジュケイ、シナガチョウ、エジプトガン、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	3
飯泉仁	190
飯泉仁・久美子	204
猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男・鈴木静治	3
大久保陸夫	2
桑森亮	18
首藤佑吉	1
鈴木静治	61
諏訪哲夫	3
染谷迪夫・北原建郎・木村稔・田中功	39
染谷迪夫・木村稔・田中功	31
鶴見みや古・尾崎清明・平岡孝	1
中西榮子	30
中野久夫	36
間野吉幸	1
総計	622

(諏訪哲夫)

会 員 便 り (ab-yacho より)

【我が庭の餌場】

ヒヨドリは他の鳥達を追い払うので嫌われものです。我が家の餌場に来ているヒヨドリもメジロやスズメを追い散らしています。このピヨ太に最近変化が出てきました。これまでは餌を持って表に出ても私の姿を見るとさっと逃げていたのですが最近餌を置いてある木に飛んでくるようになりました。ご主人様の顔を覚えたのかしらなどと思っています。(陰の声) 顔ではなく、餌が見えるだけじゃないの。私はピヨ太と名づけています。でも他の鳥達を追い散らすのは一向に変わりませんが。(諏訪哲夫 2009.12.23)

【ホオジロカンムリヅル】

現在、ホオジロカンムリヅルが山武郡大網白里町にいます。昨日、この場所に在住の一般の方から、ここ 2~3 日毎朝飛来するとして、刈り取り後の水田にいるホオジロカンムリヅルの画像を添付した同定依頼のメールがありました。10m 位に近寄っても逃げないということです。手賀沼のホオジロカンムリヅルが最後に見られたのはいつでしょうか。たしか去年は、県内に 2 羽いたのでしたね。この鳥は手賀沼にいた鳥である可能性はあるのでしょうか。(平岡考 2009.12.25)

久しぶりでホオジロカンムリヅルの話題ですね。JBF に参加した「利根運河の生態系を守る会」の会報（2009.10.10 発行）によりますと次の様な情報が載っていました。

9/25 野田市 江川・三ヶ尾 「江川排水機場の柵の上」

10/2 流山平和台地先の江戸川の水制跡の流木の上恐らく現在二羽いると思われます。(間野吉幸 2009.12.25)

手賀沼のホオジロカンムリヅルの最後の目撃は1月下旬でした、その後目撃情報はピタッと途絶えたようです。手賀沼の個体も野田市三ヶ尾や北新田に移動したことがありました、手賀沼に来れば興味ありますね！（松田幸保 2009.12.26）

【ベニマシコ】

きょうの夕方、いつもの散歩がてら曙橋に行ってきました。駐車場前の遊歩道を歩いていたら、土手に生えている草の実をガムシャラに食べているベニマシコを発見。ちょうど EOS 7D + シグマ 500 ミリを持っていたので激写。(大久保陸夫 2009.12.25)

【銚子にコクガン】

銚子カモメ探鳥会に参加を予定しているみなさん、今晚は。諏訪です。今日、下見に染谷さん、大久保さん、北原さんと銚子に行ってきました。今日の銚子は低気圧の影響が波が非常に高く、そのせいか千人塚の前辺りにはカモメはいなくて第三漁港の方に集まっていました。その第三漁港にコクガンがいるのを染谷さんが見つけて一寸興奮しました。三番瀬には来ているようですがまさか銚子で見れるとは思っていませんでしたのでびっくり仰天でした。そのせいではありませんが目的のカモメの観察が一寸おろそかになってしまい珍し系のカモメは見つけることが出来ませんでした。(陰の声「いたのにただ単に識別できなかったんじゃないの」) カモメは沢山出ているので本番では十分観察できると思いますコクガンが本番まで滞在してくれると良いですね。(諏訪哲夫 2009.01.08)

もう10年ぐらいまえでしょうか、やはり銚子に1羽コクガンが来て、それが(どこかへ移動した後だったかもしれませんが)死んで、山階鳥研に死体をいただいたことがあります。たしか、銚子で海苔を食べているという噂を聞いていたような気がします、解剖してみると、胃の中に緑色の海苔がいっぱい詰まっていた、なるほどすごいものだった記憶があります(海苔の正しい種名は知りません)

三番瀬や銚子の今年のコクガンは何を食べているか、観察されたら教えてください。コクガンの話題提供ありがとうございました。(平岡考 2009.01.08)

コクガンの食べていた海草の件ですが、私が昨年12月22日に三番瀬で見た時はアオサ?の様な海草を盛んに食べていました。(村上稔 2009.01.08)

銚子カモメ探鳥会に先立ち、銚子に下見に行ってきました。天気にも恵まれ、勿論カモメも見られましたが、その他クロガモ、アカエリカイツブリ、ミミカイツブリなどが見られました。なかでも、珍しいコクガンを見ることができ、驚かせられました。近かづいても逃げる様子もなく、悠然と藻を食べていました。(大久保陸夫 2009.01.08)

【井頭公園】

2月7日の会の行事に他用で参加できないので、1月11日に、メリーリスと出かけてきました。到着時の気温は3度でしたが、風がなく、入口近くで、アオジ、ビンズイ、ルリビタキ、カケス、シロハラなどの出迎えを受けました。池は、現在護岸工事のため、水位がかなり低く、中央部の展望台で建物の工事が進行中で、カモたちは、事務所棟近くにか

たまっていました。種類も少なく、マガモ、カルガモ、オナガガモ、カワウが多く、コガモが数羽、ミコアイサが3つがいで、他の種は見かけませんでした。池の周辺には、カワセミが活発に飛び回っていました。シメが、池で水を飲むのをはじめて見ました。林の中では、シロハラ、ルリビタキ、ピンズイ、ジョウビタキに何回も出会いました。アカハラは見ず、とても綺麗なトラツグミ1羽には最後の段階で偶然近くで出会いました。つり池のやや奥まった通路で、10人ほどの写真屋さんが、通路に餌を撒いて、鮮やかな、あまり見かけない鳥10羽ほどの写真を撮っていました。事務所で聞いてみると、今冬、井頭公園に初めてソウシチョウが越冬にやってきているとのこと。5月に、筑波山でよく見ますが、冬は集団で藪にいるようです。私達は、飼い鳥だとは思いましたが、ソウシチョウとは、思いもかけませんでした。昼は、気温が5度前後で、昼食は車に戻ってとりました。帰路、道の駅二の宮に立ち寄りしましたが、この辺はイチゴの産地らしく、トチオトメなどを大量販売していました。売店は以前よりも、かなり拡張されています

【北新田】

- ・トビは上空で帆翔、チョウゲンボウはホバリングしていました。
- ・ノスリとハヤブサは2号排水路沿いの電柱にとまっていました。
- ・イカルチドリは青山水門近くの2号排水路にいました。
- ・タゲリは青山水門近くの畑10羽、金谷水門近くの中央学院のグラウンドに3羽いました。(中野久夫 2010.01.15)

【タゲリ】

今日、我孫子市体育館のグラウンドの芝生にタゲリが20羽餌を食べていました。(諏訪哲夫 2010.01.15)

【高浜の水浴ミサゴ】

年末の涸沼探鳥会に参加された方は、最終探鳥地「高浜」でミサゴが何度も水浴をする光景を覚えていると思います。あれは多分、食後に体をきれいにしているのだろう、そして魚を捕る時間も遅めではないかと推測し、水浴を期待して12時頃に行ってみました。期待通り、12時半頃に魚を抱えて飛んできて、探鳥会時最初に止まっていた乱杭に止まりました。でも魚を半分ほど食べて、その後は一向に食べません、4時まで付き合って帰宅しました。足でつかんだままの食べ残しはどうなるのですかね！(松田幸保 2010.01.16)

涸沼探鳥会時に見られた高浜の水浴びミサゴを見るべく、再度挑戦してみました。何回もやってくれました、やみつきになりそう！(松田幸保 2009.01.24)

【オオコノハズク】

昨晚、鳥博前の千勝神社(高野山新田)まえの歩道で、所員の鶴見がオオコノハズクを保護しました。鶴見によると、自転車で帰る途上、轆きそうになったそうです。車に接触したなどして、うずくまっていたものかと言っています。一旦保護しましたが、飛行が可能であったので、渡り調査のための環境省足環を装着し、放鳥しました(写真の角度で一見、体が小さく見えますが、体のサイズや、橙赤色の虹彩を確認しておりオオコノハズクで間違いありません)。オオコノハズクは、我孫子野鳥を守る会の30年の記録のまとめでは3例が挙がっていますが、鳥研のフクロウ用巣箱に我孫子鳥博で設置してくださっているカメラには、巣箱をのぞく個体の映像が映ったことがあると聞いています。このあたりにも人知れず越冬しているものと思います。珍鳥の情報を聞いて追っかけのためにはるばる出かけてゆくのも良いでしょうが、地元の人知れず棲んでいるこういった鳥を自分の目で探せたらそのほうがバードウォッチングの本当の楽しみを与えてくれるものと思います。

(平岡考 2010.01.13)

【古利根】

昨日「古利根ウォッチングの会」の探鳥会に始めて参加しました。近くの田圃にはタゲリが湖面には少ないながらミコアイサやカンムリカイツブリがいました。古利根地区で探鳥するのは久しぶりです。(諏訪哲夫 2010.01.25)

平成 22 年度上期行事予定 (4月～9月)

実施日	行事内容	担当	備考
4/11(日)	am 手賀沼定例探鳥会 pm 定期総会	小林、野口(紀)	
4/17(土)	葛西臨海公園探鳥会	野口(隆)、桑森	
5/1(土)	筑波山探鳥会	鈴木、染谷	
5/9(日)	am Enjoy 手賀沼探鳥会 pm 幹事会	事務局(染谷)	定例探鳥会兼
5/15(土)～16(日)	軽井沢・菅平探鳥会	桑森、諏訪	
6/13(日)	手賀沼定例探鳥会	北原	
6/27(日)	笹川・印旛沼探鳥会	北原、小玉	
7/3(土)～4(日)	手賀沼学会パネル出展	間野、宮下、野口(隆)	
7/11(日)	am 手賀沼定例探鳥会 pm 幹事会	桑森	
7/24(土)	pm 映写会 夕方 納涼会	諏訪、吉田、野口(隆) 北原、染谷	
8/1(日)	ホテルの夕べ	木村、染谷	
8/8(日)	手賀沼定例探鳥会	松田	
8/29(日)	シギチ探鳥会 (候補地：茨城県南部)	諏訪、松本	
9/12(日)	am 手賀沼定例探鳥会 pm 幹事会	佐々木	
9/18(土)～19(日)	白樺峠タカの渡り探鳥会	猪爪、桑森	早朝6時発

市民手賀沼探鳥会

実施日：2010年1月31日（日）9：00～12：00

天 候：快晴、風：無風

場 所：手賀沼遊歩道

当探鳥会は我孫子市環境レンジャーと当会共催の探鳥会で一般市民を対象に、探鳥の楽しさや野鳥への理解を深めて戴くことを目的に毎年開催しています。一般市民の参加者 23 名を 5 班に分け、当会会員と環境レンジャーが夫々の班毎に丁寧な野鳥観察指導を行い参加者から野鳥観察の楽しさを実感して頂きました。

今年も人気のカワセミが何度も観察でき、しかも魚を捕食し呑み込むまでの動作をじっくり見られたこと、ノスリが低空で目の前に出現し、チュウヒやオオタカなどの猛禽もしっかり観察できた一方、モズやオオジュリンが例年に増して沢山見ることが出来ました。

参加された一般市民の方のアンケートからは、丁寧な説明で野鳥に対する驚き、感激、説明に対する感謝の言葉が多数寄せられました。

認めた鳥：カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミコアイサ、キジ、バン、オオバン、タゲリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 47 種 番外 カワラバト

参加者：一般市民 23 名、当会会員および環境レンジャー 15 名

手賀沼流域フォーラム親子探鳥会

手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、当会が企画した親子や一般の人を対象とした探鳥会を実施しました。好天に恵まれ 40 種の野鳥が観察され、参加者は大満足の探鳥会でした。

実施日：2009年12月13日 13:00～15:30

行 程：手賀の丘公園～手賀沼～手賀の丘公園

認めた鳥：カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、エナガ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 40 種

参加者：一般参加 16 名（親子の組数 5 組、小学生 6 名）、当会会員 6 名

手賀沼と冬鳥、舟とウォーキング観察 報告

実施日：2010年1月30日（土） 9：00～12：30

主 催：利根川舟運・まちづくり協議会

案 内：我孫子野鳥を守る会（依頼は我孫子市公園緑地課）

行 程：我孫子市役所駐車場 漁業組合前 徒歩 手賀沼遊歩道 滝前下広場 フィッシング

グセンター - 舟で手賀沼一周 (鳥あわせ) - 解散

案 内：利根川流域の観光資源を見直すために、取手市など近隣市町村と連携して、手賀沼と冬鳥を舟とウォーキングで観察を実施。

我孫子市、取手市、利根町、河内町の4市町の参加者74人を8班にわけ我孫子市駐車場を9時出発。

参加者：一般参加者は74人、当会参加者13名

認めた鳥：カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、オカヨシガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ノスリ、チュウヒ、キジ、クイナ、バン、オオバン、ハマシギ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ユリカモメ、クロハラアジサシ、キジバト、カワセミ、アリスイ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計50種 番外 カワラバト、バリケン、シナガチョウ

第19回手賀沼ふれあい清掃

恒例の年末の手賀沼ふれあい清掃が実施されました。

日 時： 2009年12月6日(日) 9:00~11:45

集合場所：手賀沼公園 多目的広場

当会の清掃エリア：ふるさとコース(手賀沼公園~根戸新田)

当会参加者：猪爪敏夫、佐々木隆、間野吉幸、坂巻宗男、松本勝英、松本葉子、野口紀子、宮下三禮、類地佑子、染谷迪夫 10名

総参加人数 各団体、市民 合計345人

集めたゴミ 2トントラック3台半 7トン

お土産 買い物用エコバック、粉石けん、水きり・三角コーナーのセット

1月幹事会報告

日 時 1月10日(日) 13:30~16:00

場 所 アビスタ2F 第4学習室

議題 平成22年度上期 行事予定

4月から9月までの定例探鳥会、日帰り、一泊探鳥会、その他行事予定を検討し決定した。

会報213号記載記事について

会報213号に記載する記事を検討した。(行事予定、実施工事の感想文、報告など)

第3四半期会計報告

4月から12月までの会計状況の報告。(予算どおり推移している。)

報告・検討事項

・市民活動フェア in あびこ 2010 (3/6,7)

3/6(土)13:00~15:00、手賀沼公園定点探鳥会を実施し、担当は野口(隆)、桑森の2名

3/6(土)、7(日)の両日、会の活動を紹介するパネル展示。担当は佐々木、

浅井

- ・手賀沼と冬鳥、船とウォーキングツアー対応について
利根川舟運・地域づくり協議会（関連地方自治体）から依頼を受けた探鳥ガイドを1月30日に実施。参加者80人（我孫子市・利根町・河内町の市町村）
当会对応14人
- ・美手連関連報告
- ・JBF 関連報告
12/1 に実行委員会の反省会があり、当会での反省点を発言し、伝えた。また、市長との意見交換もあり。21年度の来場者は38,000人との報告あり。
22年度はJBF開催10周年にあたり、開催日は10月23日、24日の前倒しで決定。10周年の特別企画を検討する。また、手賀沼周辺の道路の混雑状況等を考慮しけやきプラザの活用も検討。
- ・その他
木村から手賀沼の大津川河口のゴミ清掃の提案があり、異議なく実施の方向で、ポート賃借費につき美手連の予算で対応できないか1月26日開催の運営会議に間野から諮る。実施は3月頃になると見込み。

新入会員紹介

大矢篤（松戸市）
栗原裕子（我孫子市）
河内悠太郎（八街市）

寄 付

山野辺伸作さんよりご寄付を頂戴しました。厚く御礼申し上げます。

ほーほーどり No.213 （2010年3～4月号）

発行 2010年3月1日
発行人 間野吉幸
編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮
事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel: 04 7182 3972
URL <http://abikoyacho.org/>
郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会
会費 年会費2,000円（大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料）